

**ロビー  
展示**

## ロビー展示「この本、読んでみて！」 ～高校生読書活動推進事業 関連展示～

県生涯学習課主催の「高校生読書活動推進事業」に、当館職員がアドバイザーとして参加し、育成研修での講師や生徒の活動支援等に取り組んでいます。

4月27日～5月10日の「こどもの読書週間」に合わせて、1階ロビーで同事業を紹介する展示を行います。高校生イチオシの本を、ぜひ手に取ってみてください。



### ■読書コンシェルジュによる活動

本や読書の魅力を伝える高校生読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」がおすすめする本を紹介します。

### ■伝えよう！本の魅力コンテスト

県内の高校生等を対象に、ポップや短文でおすすめ本を紹介する作品を募集し、読書コンシェルジュ経験者が審査を行います。令和5(2023)年度の入賞作品を、紹介本と一緒に展示します。

### ■全国高等学校ビブリオバトル2023栃木県大会

発表者によるおすすめ本紹介とディスカッションを行い、観戦者の投票で「一番読みたくなった本」を決める、知的書評合戦。2023年大会で入賞した紹介本のうち、当館で所蔵するものを展示します。



R5伝えよう！本の魅力コンテスト  
ポップ部門 最優秀作品

**実施  
報告**

## 第39回 日産 童話と絵本のグランプリ 大賞受賞作品寄贈式

「第39回 日産 童話と絵本のグランプリ」の童話大賞作品「あたしは本をよまない」と絵本大賞作品「なんかひとりおおくない？」が日産栃木会から寄贈されました。

当館では、地下1階・読書活動支援室に「日産 童話と絵本のグランプリ受賞作品コーナー」を設け、これまでの受賞作品を展示しています。

### 第39回 日産 童話と絵本のグランプリ

#### 【童話大賞】

「あたしは本をよまない」(コウタリリン/作)

#### 【絵本大賞】

「なんかひとりおおくない？」(うめはらまんな/作)


**第398号の  
主な内容**

- ・ロビー展示「この本、読んでみて！」…p.1
- ・日産童話と絵本のグランプリ大賞受賞作品寄贈…p.1
- ・R6年度県民ライブコンサート開催予定…p.2
- ・ロビー展示実施報告「郷土料理しもつかれ」…p.2
- ・子どもの読書ボランティア指導者研修…p.3
- ・＜連載＞館長コラム…p.3
- ・家庭の日のお知らせ…p.3
- ・＜連載＞司書の目(おすすめ本紹介) …p.4
- ・イベント案内&カレンダー…p.4



## 令和6(2024)年度県民ライブコンサート開催予定

コンサート

今年度も県民ライブコンサートを開催します。事前申込みが不要になるなど、開催方法が大きく変わりますのでご注意ください。皆様のご来場をお待ちしております。

### 【変更点】

#### ■事前の申込みが不要になります

当日にご来場いただければ、どなたでも演奏を聴くことができます。整理券の配布等はありません。ご来場の順に会場にお入りいただけます。

#### ■土曜日・日曜日(開館日)に開催します

昨年度は第4木曜日(定例の休館日)に開催していましたが、今年度は土曜日・日曜日に開催します。開館日ですので、コンサート前後に館内の資料やサービスをご利用いただけます。

#### ■全6回開催します

今年度は全6回開催します。第1回の内容及び今年度の開催予定は以下のとおりです。

第1回	ピアノ・ボーカルによるデュオコンサート
日時	令和6(2024)年5月26日(日) 14時30分開場 15時開演
会場	栃木県立図書館1階ホール
出演	岩下淳子、野城充生
曲目	愛の夢 第3番(リスト/作曲)等

#### 令和6(2024)年度開催予定

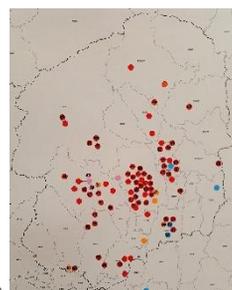
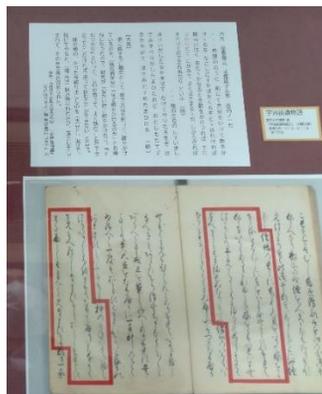
- 1 ピアノ・ボーカルによるデュオコンサート  
5月26日(日) 岩下淳子、野城充生
- 2 木管アンサンブルによるコンサート  
7月20日(土) Taffanel Quintet Miya
- 3 フルートアンサンブルによるコンサート  
8月18日(日) サウンドウィズフルートアンサンブル
- 4 チェロアンサンブルによるコンサート  
9月1日(日) 栃木チェロ協会
- 5 ハープによるコンサート  
10月26日(土) むかえ なほみ
- 6 二胡、ピアノによるコンサート  
11月24日(日) 宮郷暁東、氏家敬子、みやにこ・あかつき

実施報告

## 県文化振興課 × 県立図書館連携展示

### 「郷土料理しもつかれ～初午に作る行事食～」

当館では、県庁各課と連携し、県の取組を紹介するさまざまな展示を実施しています。



2・3月には、県文化振興課と連携し、郷土料理しもつかれを紹介する展示を行いました。

しもつかれの作り方や風習の紹介パネル、しもつかれ作りに必須のアイテム・鬼おろし(現物)、しもつかれ(すむつかり)が登場する古典作品など、様々な切り口から「しもつかれ」をご紹介します、多くの方に足をお運びいただきました。

来館者に「しもつかれ」を何と呼ぶかをシールで投票いただく企画「しもつかれ? 大調査!!」を実施し、こちらも多くの方にご参加いただきました。「しもつかれ」と呼ぶ方が圧倒的多数でしたが、「しみつかれ」「すみつかれ」派の方も見られました。

なお、今回の展示は、県が文化庁の令和3・4年度『食文化ストーリー』創出・発信モデル事業の補助を受けた「とちぎの食文化調査研究発信事業」に基づくもので、成果をまとめた「シモツカレ調査報告書」は当館や市町立図書館で閲覧等ができます。

## 春待つ心



今年は、啓蟄より前から水仙が黄色いつぼみを見せ始め、春が駆け足でやってくるかと思いましたが、途中で足踏みをしての訪れでした。在原業平が「世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」と詠んだように、桜の開花の声を聞くと、気もそぞろになってきます。

2024年は、『沈黙の春』を書いたレイチェル・カーソンの没後60年にあたります。地球温暖化の影響があるのでしょうか、60年前の1964年の桜前線と比べると、各地の桜の開花日も早まっている印象です。新入学の子どもたちには、桜の花が咲く下を、せめて桜吹雪の中を歩いてもらいたいと思います。レイチェル・カーソンに教えてもらった言葉の一つに、「センス・オブ・ワンダー」(不思議さに驚嘆する感性)がありますが、子どもたちには、神秘的なものや自然の豊かさに鋭敏な感覚を持ち続けてほしいと願います。

同じ桜を見ても、人によって、あるいは時によって、抱く思いは様々です。東日本大震災で避難指示が出された地域でも、毎年桜の花は満開になりました。花爛漫の桜並木と、全く人の姿のない福島町の様子がテレビや新聞で報道され、意味合いは異なりますが、「沈黙の春」という言葉を連想しました。静かに咲く花爛漫の桜並木の様子は、画面越しながら何とも言えず辛い美しさでした。人に愛でられることもなく散っていく桜の様子ほど、寂しいものではありません。故郷に戻れない方々はどのような思いだったことでしょうか。避難指示が解除されても住民が一斉に戻る様子はありませんが、それでも少しずつ帰還する方が増えてきたようです。今年は、富岡町で13年ぶりに桜祭りが開かれるとか。町の復興を祈るしかありません。

元日の能登半島地震から3か月が過ぎましたが、能登半島では避難生活が続いています。寺田寅彦は『天災と国防』で、「文明が進むほど災害がその激烈の度を増す」と言っています。能登半島地震でも、水道の復旧が追い付かず、支援の手が届かない様子は、住民の孤立の度合いを高めています。被災地にこそ待ち遠しい春の訪れです。被災地でも桜の美しさが皆様の救いとなりますように。

(栃木県立図書館長)

### 実施 報告

## 令和5(2023)年度 子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修

当館では、子どもの読書ボランティアへ指導・助言を行う「子どもの読書ボランティア指導者」の養成及び登録指導者の派遣を行っています。現在は新規養成は休止し、登録指導者のスキルアップ研修を連続講座として開催するとともに、研修の一部を公開講座とし、広く子どもの読書に関心がある方に受講いただける機会としています。

令和6(2024)年度も同様の開催を予定していますので、皆さまの受講をお待ちしています。

【第1回】講演「物語絵本と科学絵本ー子どもが絵本を読む意味」※公開講座  
(株)福音館書店「たくさんのふしぎ」編集長 石田 栄吾 氏

【第2回】講義「研修会を企画しよう!」、情報交換・交流会 県職員

【第3回】講話「子どもに勧めたくなる本～絵本・幼年・小学生向けの読み物を中心に～」※公開講座  
元白百合女子大学教授 白井 澄子 氏

【第4回】グループワーク「最近の子どもの絵本を読む」元学校司書 中村 順子 氏

【第5回】講演「古事記と日本の昔話ー子どもが楽しむお話としてー」子どもの本研究所 竹中 淑子 氏

### お知らせ

## 毎月第3日曜日はふれあい育む「家庭の日」です

家族みんなで過ごす機会をできるだけ多くもつことで、絆を深め、明るく楽しい家庭づくりを進めるきっかけとするため、県では毎月第3月曜日を「家庭の日」と定めています。「家庭の日」には家族で一緒に本を読み、感想を話し合う時間を持つてみてはいかがでしょうか。



毎月第3日曜日は「家庭の日」

栃木県ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/c07/life/seishounen/seishounen/kouhou/kateinohi-main.html>



わたしの1冊 読んでみませんか？

# 『ファン・ゴッホの手紙 1・2 (全2巻)』 (フィンセント・ファン・ゴッホ／著 新潮社 2020)

司書が日常の中で接した本から、おすすめの1冊をご紹介します。

手紙や日記というものは、他人に見られたくないものだと思いますが、その人物について知る上ではとても重要な資料です。画家のフィンセント・ファン・ゴッホを題材にした小説を読んだ後、もっと史実的なことを知りたいと思い、この書簡集を手に取りました。

書簡集はこれまでもいくつか刊行されていますが、初期の書簡集は、まだ生きていた家族への配慮から、ゴッホの義妹ヨーの手によって削除・改変されている部分があったそうです。オランダのファン・ゴッホ美術館は、15年かけて現存する903通の手紙を全て調べ上げ、削除・改変された部分を復元し、決定版とも言える書簡集を2009年に刊行しました。本書は、2009年刊の書簡集に基づいて重要な手紙265通を掲載した選集です。

収録されている手紙のほとんどは、弟テオ宛てのものです。テオは極端な性格から周囲と上手く関わることが出来なかったゴッホを、理解しようとし、ずっと支えてくれていました。手紙には絵に関する以外に、仕事のこと、家族との喧嘩、恋愛事情、お金の無心(テオはゴッホに仕送りをしていた)など私生活に関するあらゆることが書かれており、どのような状況下で何を思っていたかをゴッホ自身の言葉で知ることができます。全2巻とボリュームのある本ですが、ゴッホについて知りたいという方はぜひチャレンジしてみてください。

(雲)



## イベント案内

### ■県民ライブコンサート

ピアノ・ボーカルによるデュオコンサート  
5月26日(日)岩下淳子、野城充生  
(1Fホール 午後2時30分開場 申込不要)

### ■館内展示

#### 1F ロビー

- ・この本、読んでみて！  
～高校生読書活動推進事業 関連展示～
- ・自然環境課連携展示(～4/24) ほか

#### B1F 読書活動支援室

- ・さまざまな訳で読む名作2 星の王子さま
- ・えほんで体験！古典芸能の世界

#### 2F 公開資料室

- ・法律を学ぼう～あなたの生活を守る知識～

#### 3F 地域資料室

- ・山本有三 没後50年
- ・栃木県文化功労者 稲見けい子氏・大嶽浩良氏
- ・(美術館連携)高橋由一から黒田清輝へー明治洋画壇の世代交代劇ー(4月下旬～)
- ・(博物館連携)とちぎ江戸絵画の底力(4月下旬～)

#### 4F 公開資料室

- ・2023年追悼企画 本で偲ぶ芥川賞・直木賞作家
- ・第170回芥川賞・直木賞受賞作
- ・令和5年度文学賞受賞作

図書館カレンダー ※□は休館日です。最新情報はホームページをご確認ください。  
4月13日、6月1日・2日は県庁地下駐車場が利用できません。

4	日	月	火	水	木	金	土	5	日	月	火	水	木	金	土	6	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6																	
	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11			2	3	4	5	6	7	8
	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18			9	10	11	12	13	14	15
	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25			16	17	18	19	20	21	22
	28	29	30					26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	30



栃木県立図書館報  
図書館だより 第398号  
発行日 令和6(2024)年4月



発行 栃木県立図書館  
〒320-0027 宇都宮市埜田1-3-23  
TEL 028-622-5111(代表)  
E-mail : tochilib@lib.pref.tochigi.lg.jp  
HP : <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>